第17巻　第8号
発行日　令和4年3月24日

長崎県立長崎北高等学校

長崎北高ＮＥＷＳ　２・３月号

〒851－1132
長崎市小江原1丁目1番1号
電話 095 (844)5116

ホームページもご覧ください
http://www.news.ed.jp/kita-h/

令和4年度 4月の行事予定

日	曜	行　事	日	曜	行　事
1	金		16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	[短]朝読開始① 部集合
4	月		19	火	[短]生徒面談
5	火		20	水	[短] 生徒面談・内科検診
6	水	オリエンテーション設営	21	木	[短]内科検診
7	木	第2回合格者オリエンテーション	22	金	
8	金	新任式・始業式 入学式・PTA入会式 大掃除	23	土	
9	土		24	日	
10	日		25	月	
11	月	実力テスト 全員係選出・集合 専門委員会	26	火	大会結果報告会
12	火	実力テスト③ 朝読開始②　対面式 新入生研修・物品受渡 夏服採寸・写真撮影①	27	水	歓迎遠足
13	水	[短]朝読開始③ 生徒面談・検尿1次 クレペリン検査①	28	木	
14	木	[短] 生徒面談・検尿1次	29	金	昭和の日 特別模試③
15	金	[短]生徒面談 心電図・レントゲン	30	土	

北高の児等へ

「ガラスの天井」を打ち破ろう

教頭　宮﨑哲郎

「東京から車で2時間半、自然豊かな高原に未来村があります。1970年代、鉱山の町として栄えましたが、71年の閉山で労働者とその家族が流出しました。80年代は、高冷地の気候を生かした高冷地野菜の栽培が盛んになりましたが、その後も人口減少は続き地域の活力が低下しています。では、この未来村が存続の危機に陥った分岐点は何年代で、分岐点でどのような施策を講ずるべきであったのでしょうか。」実はこれは東京都内のとある大学の入試問題です。実際はA4で7枚ほどの文章と資料で構成されていますが、このように知識の量よりも思考力や発想力を評価する「探究型入試」を導入する大学が増えています。多様な解答が予想される試験ですが、なんとこの試験ではスマホの持ち込みまで認められたそうです。こうした時代の要請に対応するため、本校では1月27日（木）、1年生による「総合的な探究の時間（つがのきたいむ）」の学年発表会を本校体育館で開催しました（その様子は、本校のHPに掲載されています）。「北高改革」をテーマに、各班が日頃の学校生活で抱える悩みの中から、具体的課題を設定して、その解決策を発表しました。発表までの準備期間はわずか2カ月間。それでも班ごとに「バスマナーの改善」や「制服」など、複数解答のあるテーマに挑んでいました。

インターネットが普及し、24時間いつでも情報に触れることができる現在は、まさしく「一億総評論家になれる時代」です。仕入れた情報をもとに、「だから日本はダメなんだ」「こうだから長崎は遅れている」など言うことはたやすいことです。もちろん現状に不満を持ち、理想のあるべき姿を語ることも大切です。しかし、最も大切なことは、理想の形に近づくために自ら手足を動かし、汗水たらし、時には頭をフル回転して考える、つまり解決のために「自ら動く」「アイデアを出す」ことです。その意味で今回の1年生の探究活動は、いずれの班も頭をフル回転させて考えた内容で、会場にいた私も各班の発表に魅了されました。

メールメイトで以前お知らせしましたが、本校では本年度「育てたい生徒像」を明文化しました。それは「1　社会に関心を持ち、主体的に学び続け、考え、行動する生徒」、「2　自他を認め合い、互いの可能性を高め合いながら粘り強く努力する生徒」、「3　現状を打破するために、協働して新しい価値あるものを創造する生徒」です。先ほどの1年生の探究活動は、これら1～3を育てる教育活動になります。来年度からは、民間企業および長崎県庁の皆様の協力で本活動を一層強化していきますが、生徒の皆さんは、3の「現状を打破するために、協働して新しい価値あるものを創造」することを目標に頑張ってほしいと思います。その際、一見「不可能だ」「無理だ」と思えることも、バックグランドの異なる者同士が協働することで未経験の刺激や思わぬ化学反応によって解決策が生まれることも期待できます。長崎北高生の皆さん、評論家ではなく「ガラスの天井」を打ち破る勇者としての活動を目指していきましょう。

総合的な探究の時間「つがのきタイム最終発表会」

研修・図書部 探究班　酒井聡子

3月22日（火）につがのきたいむ最終発表会が行われました。57回生がこの1年間探究活動を行った成果を、ステージおよびポスターセッションで発表しました。自分の興味関心のある分野においての課題を発見し、調査・分析・考察を経て、課題解決に挑みました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、フィールドワークや外部との連携など十分にとれないながらも、各班それぞれがメールやオンラインでやり取りするなど工夫した探究活動を行っていました。ここで57回生の探究活動は一旦終了しますが、これからも探究活動の成果を生かし、課題を見つけ解決するという視点を持って生活していってほしいと思います。

TO BE WELL BALANCED
～両道顕揚～　誇りをもち、自信をもつ

第56回卒業証書授与式　～　56回生の新たな旅立ち　～

第３学年主任　藤原雅光

３月１日（火）、第56回卒業証書授与式を挙行しました。今年度も卒業生、保護者、教職員のみでの式典となりました。新型コロナウイルスの影響で、海外語学研修は中止となり、その後も体育祭、文化祭、修学旅行等の学校行事や部活動の変更、縮小を余儀なくされた3年間でした。そのような状況の中でもできることを精一杯楽しむ生徒たちの姿が印象的でした。また、大学入学共通テストが難化し思うようにいかなかった生徒もいましたが、個別学力試験で挽回しようとひたむきに机に向かう姿を頼もしく感じていました。生徒たちはこの3年間で、学校生活を通して、受験を通して大きく成長しました。式では、答辞で小林右京さんが、3年間支えてくれた多くの方々への感謝とともに、「今のような状況でいつまでも受動的な姿勢のままでいるのは、自分の可能性を狭めてしまう行為となる。私たちはコロナとともに2年間を過ごし、限られた環境の中で自分は何をするべきなのか考える力を養ってきた。高校時代の経験を生かして、逆境を糧として、仲間とともに未来に向かって強く歩んでいく。」と述べ、56回生は堂々と巣立っていきました。

第2回校内大会

生徒会指導部

今年度第2回の校内大会（クラスマッチ）を、3月14日（月）・15日（火）の2日間で、学年ごとに実施しました。1年間ともに過ごしたクラスメイトと一致団結し、どの競技も楽しくかつ真剣な試合が繰り広げられました。クラスのいい思い出ができたことと思います。大会結果は、次のとおりです。

（2年女子の女子バスケットボールはグループ別の優勝となります）

競技	１年		２年	
	優勝	準優勝	優勝	準優勝
男子サッカー	５組	２組	６組	２組
男子バスケットボール	４組	３組Ａ	６組Ｂ	４組Ｂ
女子ドッヂボール	３組	２組	４組	１組
女子バスケットボール	１組	６組	第１グループ 優勝　１組Ａ	第２グループ 優勝　２組Ｂ

大会結果報告

水泳部

令和３年度第３１回長崎県高等学校冬季室内水泳競技大会（R3.12.19）

男子総合	第１位	長崎県立長崎北高等学校
男子５０m自由形	第２位	瀬戸島　大樹
男子２００m個人メドレー	第２位	濵崎　颯一郎
男子４００m個人メドレー	第１位	濵崎　颯一郎
男子２００mメドレーリレー	第１位	峰・濱崎・木下・瀬戸島
男子２００mリレー	第１位	瀬戸島・嶋谷・武内・濱崎
女子総合	第２位	長崎県立長崎北高等学校
女子２００mメドレーリレー	第２位	古賀・高島・山田・松田
女子１００m背泳ぎ	第１位	山田　彩華
女子１００m背泳ぎ	第２位	古賀　佑生奈
女子１００m平泳ぎ	第３位	高島　朱亜
女子５０m背泳ぎ	第１位	山田　彩華
女子５０m背泳ぎ	第２位	古賀　佑生奈
女子５０m平泳ぎ	第１位	高島　朱亜

放送部

長崎高等学校文化連盟表彰　　アナウンス部門　　渡邊　紗羽
長崎県教育委員会表彰　　アナウンス部門　　渡邊　紗羽

弓道部

令和３年度長崎地区弓道選手権大会　高校生の部　男子個人　第３位　下田　正樹

離・退任の先生方　～お世話になりました～

次の先生方が離退任されます。ご活躍をお祈りしております。
※（　）内で教科・転勤先をご紹介しています。

■退任

◎岩永洋介 先生（数学・再任用：長崎北）
◎島崎公美子 先生（英語）
◎植村菜穂 先生（英語・新規採用：佐世保北）
◎常木愛子 先生（地歴公民）
◎勝　幸八 先生（理科・再任用：長崎東）
◎長島謙二 先生（国語・再任用：鳴滝通）
◎高比良仁 先生（理科・再任用：鳴滝定昼）
◎森山裕之 先生（英語・再任用：長崎北）
◎平田愛子 先生（家庭・再任用：長崎北）
◎阿部裕子 先生（実習助手・再任用：長崎北）
◎郷野博章 先生（事務・再任用：長崎南）
◎馬場苑子 先生（国語・新規採用：佐世保工）
◎松本彩起子 先生（保健体育・新規採用：猶興館）

■転任

◎大谷幸治 教頭先生（英語・副校長：佐世保北）
◎田中颯真 先生（理科・上対馬）
◎橋本聡美 先生（養護・諫早）